

子供企画型 レポート

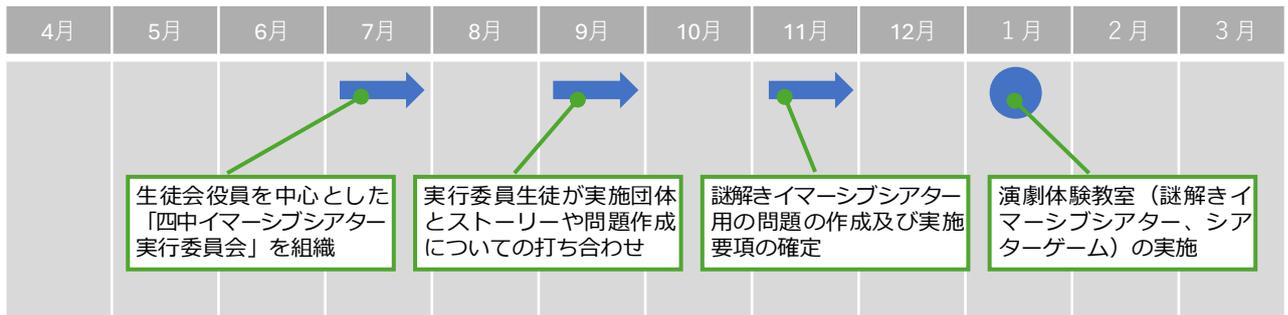
テーマ イマーシブシアターを成功させよう

立川市立立川第四中学校

教育計画
のねらい

- 1 イマーシブシアター（体験型演劇作品）を実施することにより、生徒の文化芸術への興味・関心を一層高めるとともに、全学年が参加する体験活動を通して、学校全体の一体感を育む。
- 2 本格的な演劇指導を通して、生徒の感受性や表現力を育む。
- 3 イマーシブシアターのストーリー構成や謎解き問題の作成に関わることで、生徒の主体性や企画力を育む。

児童・生徒の企画
年間スケジュール



児童・生徒の声



企画に関わった
児童・生徒

「謎解き問題の作り方がわかった。」・「謎解き問題の難易度を調整するのが難しかった。」・「演劇を企画する側の体験がはじめてだったが、相手を楽しませようと努力した。」・「自分たちで企画することの楽しさがわかった。また挑戦してみたい。」

参加した
児童・生徒

「俳優さんとの距離が近くて臨場感があった。」・「照明や音響設備も本格的ですごくかった。」・「来年もこういう企画をやりたい。」「みんなで謎解きに挑戦でき楽しかった。」

取組・実践



オンラインでの事前ミーティング

ストーリーや謎解き問題の検討

イマーシブシアターの実施に向けて、ストーリーや謎解き問題を実行委員会で検討しました。謎解き問題の専門家から、問題作成のコツについて助言をもらい、難しすぎず、かつ、易しすぎない、全校生徒が意欲的に取り組める適切な難易度の問題を考えました。本番では、実行委員が考えた問題に取り組んでいる全校生徒の様子を見て、達成感、充足感を感じていました。



演劇指導の様子

演劇指導を受ける

演劇を専門とする講師の先生や、専門学校生の皆さんから、本格的な演劇指導を受けました。プロの皆さんが行っているトレーニングやアイスブレイクの方法なども教えてもらいました。体験を通して、生徒は、プロの世界の厳しさや奥深さを実感するとともに、演劇を鑑賞する立場だけでなく、演じる側の視点で考えることの大切さを学びました。



イマーシブシアターの様子

イマーシブシアターの実施

今回のメイン企画である謎解きイマーシブシアターを全校生徒が体験しました。生活班ごとに校舎内を巡りながら、謎解き問題に挑戦しました。通常の演劇鑑賞とは異なり、生徒一人一人が物語の主人公になるため、没入感を味わうことができ、仲間意識も高まりました。新しいスタイルの演劇の楽しさに触れ、生徒にとってあっという間の4時間となりました。

成果

- 生徒が長期間にわたって、演劇の専門家と関わる貴重な機会となった。
- イマーシブシアターを体験することで、演劇に興味をもつ生徒が増えた。
- 専門家による演劇指導を通して、プロの厳しさ、プロならではの苦労している点、努力している点について理解を深めることができた。
- 生徒が主体的に企画・運営に関わる体験を通して、人を喜ばせることの楽しさや達成感を実感した。